

平成28年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 平成28年3月10日

質問者 民主党・道民連合 広田 まゆみ 議員

担当部課 総合政策部政策局

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 北海道の強みを活かす人材育成について (三) 重点の見直しについて</p> <p>次に、この大綱の重点の見直しについて伺います。この重点的な取組に象徴されるように、この総合教育大綱は、今ある問題、いわば、過去にいかに対応するかが中心であり、北海道の持つ強みや可能性に着目し、人材を育成する視点が薄く感じられます。グローバル人材の育成など、北海道の未来に言及している部分も一部ありますが、人口減少・危機突破・世界に輝く北海道を掲げた知事として、東京や大阪ではできない北海道の強みを活かした北海道総合教育大綱となるよう、重点の見直しを早急にされることが当然の判断だと考えますが、知事の所見を伺います。</p>	<p>〔総合政策部長〕</p> <p>教育大綱における重点的な取組についてではありますが、教育大綱におきましては、北海道の未来を拓く人材の育成に向けて、北海道を支える農林水産業、食や観光、ものづくりなどの産業人材や理数系などの人材、さらにはグローバル人材の育成に取り組んでいくことを打ち出しているところでございます。</p> <p>こうした人材の育成にあたりましては、すべての子どもたちに社会で自立するために必要な学力を身に付けさせる取組を進めますとともに、生活困窮世帯等の子どもたちへ教育支援に取り組むことが重要と考えておりまして、教育大綱に掲げる取組方針に基づきまして、教育関係者をはじめ保護者や地域の方々を含め様々な分野に携わる人々と広く連携し、本道の未来に向けた人材の育成に取り組んでまいりたいと考えてございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 北海道の未来を拓く人財の育成について</p> <p>次に、北海道の未来を拓く人財の育成についてですが、大綱におけるめざす姿には、「子どもから成人まで産業や経済、地域の活力ある未来を切り拓く人財の育成を進めます」とありますが、大綱に記載された中身を見ますと、既存の事業を並べただけで、例えば、私自身が、先に議会議論もさせていただいたような、学齢前からの企業家精神教育の導入などの新しい視点が見えません。</p> <p>すべての人に対して、起業しろ、社長になれと言っているわけではありません。なぜ、学びが必要なのでしょう。テストの点数をあげるためでも、よい学校に行くためでもありません。地域に住む私たち1人ひとりが、地域の未来を担う主人公であり、地域で新たな仕事や社会サービスをつくり出す自由と責任があるからこそ、学び続けなければならないのです。</p> <p>人口減少時代の産業人材の育成に関して新たな位置づけ、方向性が必要だと考えますが、道における企業家精神教育などについてこれまでの取組を何うとともに、今後の学齢前からの、単に、これまでのような学力向上、進学だけにとどまらない、ものづくりや第一次産業に関わる産業人材育成のための体系的な取組の重要性についてどのように認識し、どのように進められる考えか知事に伺います。</p>	<p>〔総合政策部長〕</p> <p>産業人材の育成についてであります。道では、これまで農業や工業などの学科を設置する高校における企業や試験研究機関などと連携した産業教育や、道立技術専門学院等における技能者の育成、食や観光、ものづくりなどの分野における地域ニーズに基づく人材の育成に関係機関と連携して取り組んできたところでございます。</p> <p>道といたしましては、大綱に定めました方針を踏まえ、引き続き好奇心や探究心、豊かな感性など生涯にわたる人格形成の基礎を養う幼児期の教育・保育活動から高等教育まで、子どもたちの発達段階に応じた体系的なキャリア教育・職業教育を進めますとともに、道教委をはじめ関係者の方々と連携して知識、技術、技能の習得に関心を持ち、個性と創造性あふれる人材の育成に取り組んでまいりたいと考えてございます。</p>